

学校対応

連携対応

## レベル1 連続欠席が2日、または月間の断続的欠席が3～5日

### 担任等による電話連絡を行います

- 欠席理由
- 医療機関への受診の有無について
- 次の登校時の連絡
- などを行います
- ※欠席理由が不明瞭な場合、家庭訪問等で確認することもあります

### \* 学級・学年・教科など、校内での情報共通を行います \*

- ①学級での様子
- ②人間関係
- ③学習状況の確認
- ④部活動などの様子
- ⑤スクリーニングシート

不登校対策委員会で検討

### チェック

保健室への来室状況  
なども有力な情報になります。

## レベル2 連続欠席が3日以上、または月間の断続的欠席が6～9日

### 担任等による家庭訪問を行います

- 子どもの表情・様子 家庭環境
- 子どもの生活リズム 保護者の見立て
- 子どもの友人関係 登校への意欲レベル
- 子どもと保護者の関係性
- などに注意しながらお子さまの様子を伺います

### \* 生徒指導・学年・委員会・SC・SSWとの連携を行います \*

- ①家庭環境
- ②学校での様子
- ③学習状況
- ④過去の欠席状況
- ⑤支援を要する場合の対応

### ケース会議

情報共有した内容は、学校全体で共有します。

## レベル3 長期欠席（学期内で10日以上、年間30日以上）かつ、家庭と連絡が取れる状態

### ① 学校とのつながりを切らない努力をします

- ・電話・タブレットを活用した継続的な連絡、家庭訪問を実施します
- ・行事への参加の仕方も家庭と相談します

### ② 保護者、本人の意向の確認

- ・学習の仕方の確認（タブレットの活用等）
- ・SC、SSW等専門家相談へつなぐ
- ・別室対応（校内教育支援ルーム）

個別対応が行えるよう、校内体制の確保を行います

### \* 学校外の組織との連携 \*

#### ①教育支援センター「ルポ」

- ・学校を通さず直接家庭からの申込みできますが、登室状況はセンターと学校で情報共有を行い、子どもの支援を行います
- 枚方市教育文化センター別館 1F (TEL: 050-7102-3154)
- ・登室・訪問指導

#### ②院内学級

#### ③フリースクールなど

#### ④その他必要に応じてつなぐ関係機関

- ・医療・診療内科（発達課題）・少年サポートセンター（非行）など

## レベル4 長期欠席（学期内で10日以上、年間30日以上）かつ、家庭と連絡が困難な状態

### ① SC、SSW等の専門家を交えたケース会議を行い目的意識を持って組織的に対応します

### ② 長期的に連絡が取れない場合、学校には公的関係機関への通知や通告義務があることをお伝えさせていただきます

### \* 重大事案を想定した連携する関係機関 \*

区分	連携する関係諸機関
就学義務違反	教育委員会
虐待	まるっとこどもセンター
非行	少年サポートセンター・スクールサポーター

## レベル5 年間の出席が10日以下かつ、家庭との連絡が困難な状態

### 電話連絡や家庭訪問を行う中で、学校が家庭へアプローチした記録はすべて残します

### また、日々の学校対応を記録しています

- ・電話連絡の際、留守番電話にメッセージを残す。
- ・家庭訪問の際、手紙を投函しておく。 など

家庭と連絡が取れない状態、または家庭と連絡が取れても子どもにアプローチができない状態が続く場合には、子どもの命を守ることを最優先に考える対応を行います

### \* 重大事案に発展しないための緊急的な連携 \*

- ①長期的に家庭との連携が取れず、「虐待」の疑いがある場合は、管理職に相談し緊急に関係諸機関と連携します。

→教育委員会へ通告書の写しを提出

→まるっとこどもセンターまたは中央子ども家庭センターに通告・状況に応じて警察に情報提供

- ②学校対応について保護者から過度な要求がある場合。

→スクールロイヤーに相談します（教育委員会を通して）

不登校児童・生徒の状況は多様であり、本方針とは異なる個別の対応を行うこともあります。



枚方市

# 子どもの居場所サポートガイド

## ～不登校支援ガイド～



子どもたちの悩みはさまざまです。  
そんな、子どもたちや保護者の皆さんをサポートしていきます。



枚方市教育委員会  
児童生徒課

☎ 050-7105-8048

📠 072-851-9335





# 枚方市は、様々な形で、子どもの居場所づくりを進めています



学校を休みがち・学校を休んでいる

登校している

外出したい

登校していない

外出したくない

スクールカウンセラー※1、心の教室相談員※2  
スクールソーシャルワーカー※3の派遣  
アプリ【ぼーち】の利用

**教室内での支援**  
様々な教職員で、児童・生徒のSOSをより受け止めやすい環境を作っています。

**教室外での支援**  
不登校支援協力員※4を中心とした、校内教育支援センターまたは別室での寄り添い支援を行っています。

**公的な支援**  
教育支援センター「ルポ」【児童】  
学習支援や集団活動、カウンセリング等の教育支援を行っています。  
児童育成支援拠点事業  
生活習慣の形成や学習サポート、進路相談、食事の提供など子どもの居場所を提供する予定です。

**民間による支援**  
公民連携プラットフォーム※5  
による居場所づくり  
公民連携プラットフォームによる家庭・学校以外の子どものための支援に向け環境整備を進めています。  
非常小規模所づくりに関係するページ(QRコードをタップしてもページへとびます。)

**対面による支援**  
教育支援センター「ルポ」【児童・生徒】  
児童・生徒に年齢の近い学生指導員が家庭訪問等の支援活動を行っています。

**オンラインによる支援**  
教育支援センター「ルポ」【児童・生徒】  
公民連携プラットフォームによるメタバース空間づくりや教育支援センタースタッフによるオンライン空間を活用した支援に向け環境整備を進めています。

フリースクール※6

学校以外に相談をしたい

※1 心理に関する専門的な知識を有する全小中学校に配置  
※2 教育に関する専門的な知識・経験を有する(臨床心理士、教員資格等)、全小中学校に配置  
※3 福祉に関する専門的な知識を有する(社会福祉士等)、全小中学校を巡回  
※4 自教室に入ることによる不安を抱える子どもたちに対して、学習支援や相談活動等を行います。  
※5 全中学校、一部の小学校に配置  
※6 事業者が持つアイデアや技術を活かした公民連携事業のことをいいます。  
※7 現在、フリースクールを居場所とする子どもへの費用支援の実現をめざしています。

## ①各学校によるサポート(各学校へご連絡ください)

- 様々な立場の教職員で情報を共有し、定期的な電話連絡や家庭訪問による面談
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員等の専門家による教育相談
- デジタル教材や学習プリント等による個別支援学習
- ICT機器を活用したオンライン授業
- 校内教育支援ルームまたは別室への登校
- 不登校支援協力員による支援



## ②教育支援センター「ルポ」でのサポート(教育文化センター2階)

- 家庭及び学校と連携した学習活動や個人活動、グループ活動の実施
  - プログラミングやオンラインゲームを使った学習活動
  - eスポーツの体験・メタバース空間での登室【試行中】
  - 本人及び保護者に対する定期的なカウンセリング
  - オンラインでの、不登校児童・生徒・保護者支援
- 【開室日時】 月～金 10時～15時  
【問い合わせ先】 ☎050-7102-3154  
🌐 [jidousien@city.hirakata.osaka.jp](http://jidousien@city.hirakata.osaka.jp)



## ③フリースクール等でのサポート

学習活動や教育相談等を行い、個別支援を実施している民間施設。  
(令和5年度1月末時点で枚方市教育委員会が把握している、不登校支援に関するホームページ  
不登校等の児童・生徒を受け入れている民間支援団体です。)



## ④相談窓口によるサポート

児童・生徒及び保護者が抱えている様々な課題に応じた相談を実施しています。

### 子どもの笑顔を守るコール

いじめ、友達関係、不登校に関することなど、学校生活全般について電話による教育相談を行っています。  
『教育安心ホットライン』  
072-809-2975  
月～金 9時～17時30分

### 教育相談

専門的な知識を有する相談員が、子どもの発達等について面談や心理検査などを通してアドバイスをします。事前に予約が必要です。原則、学校を通じてお申し込みください。  
050-7102-3154  
月～金 9時30分～18時

### まるっとこどもセンター

子どもとの接し方・親子関係・友達関係・発達・行動上の問題など、様々な相談に専門の相談員が応じます。  
050-7102-3221  
月～金 9時～17時30分  
(9月以降 番号が変わる予定です)



